

# 『看護覚え書』の序章を掲載！

続き7

## 子供の寿命は衛生状態の判断基準

17.「か弱い赤ん坊の寿命は」衛生状態についての「最も鋭敏なテストである。」このような赤ん坊の早すぎる苦しみと私は、すべて避けることのできないものであろうか。それとも神は、母親たちのそばにいつも医師を付き添わせようとするおつもりなのであろうか。あるいは子孫を護るに役立つ法則を習うよりは、ピアノを習わしたほうがまだ、とでも言うのだろうか。18.マコーレーがどこかでこう言っている。天体の運行の法則については、それらが我々から遙か遠くに離れて存在するにもかかわらず、まったくよく理解されているのに対して、奇妙なことに、人間の心に関する法則は、それが毎日また終日我々の観察の下にあるにもかかわらず、二千年前に比べて、すこしもよりよく理解されているとは言えない、と。

19.ところが、もっと奇妙なことがある。すなわち、我々これを教育の虚飾とも呼びたいところであるが、例えば天文学の基本原理などが、いまやすべての女生徒が教えられているのに対して、我々の身体と、神がそれを置かれたこの世界との関係について神が定めた法則については、あらゆる階級の家庭の母親たちや女教師たちはおろか、子供の乳母たちにも、病院の看護師たちにも、何一つ教えられてはいない。言い換えれば、神が、我々の心の容器とされたこの身体を、その心の健康なあるいは不健康な容器に仕立てる法則については、ほとんど何も学ばれていないのである。私たちはこれらの法則、すなわち生命の法則が、ある程度は理解されていることを否定はしない。しかし母親たちでさえも、それらの法則を学ぶこと、すなわち自分の子供たちに健康な生活をもたらす方法を学ぶ事が、自分たちにとって価値があるとは思えない。彼女たちは、それを医学あるいは生理学の知識と呼んで、もっぱら医師のものと思っている。

看護覚え書より引用

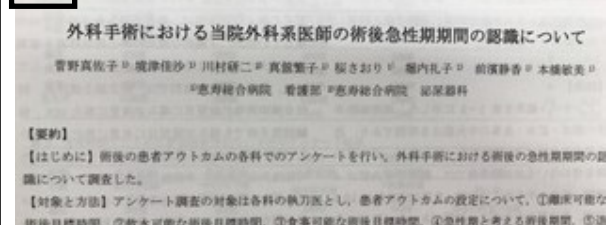


## WLB事業に取り組んで。。。

2月18日、平成26年度から取り組んでいる、WLB(ワークライフバランス)の発表会が地場産業振興会館でありました。昨年の「2交代制夜勤の導入について」に続いて、今年度は、「一人でも多く夜勤を、一回でも多く夜勤をしてもらうためには」と題して、3病棟3階の福島智子師長が発表をしてきました。今年度は、県内15の施設が参加しており、課題・活動も様々でした。その中で、有休の取得率向上に取り組んでいる病院が数箇所ありました。当院では、師長の計画的な有給取得に向けた勤務作成で、年間の取得率が60%を超えており、発表病院に比べると多く取得できていることが確認できました。他の施設の取り組みも含めて、石川県看護協会ホームページに掲載され、3月から会員であればいつでも閲覧ができます。

## 2名の看護師！お見事です！

6階東病棟の菅野真佐子主任は、当院の第22回クリニカルパス大会で発表された”当院における術後アウトカムのアンケート結果“を泌尿器科医師：川村研二先生のご指導を受けこの度論文を完成させました。これは、著者である菅野真佐子さんが新しい発見をして、当院学術誌の記事として掲載した立派な**原著論文**です。お見事です！

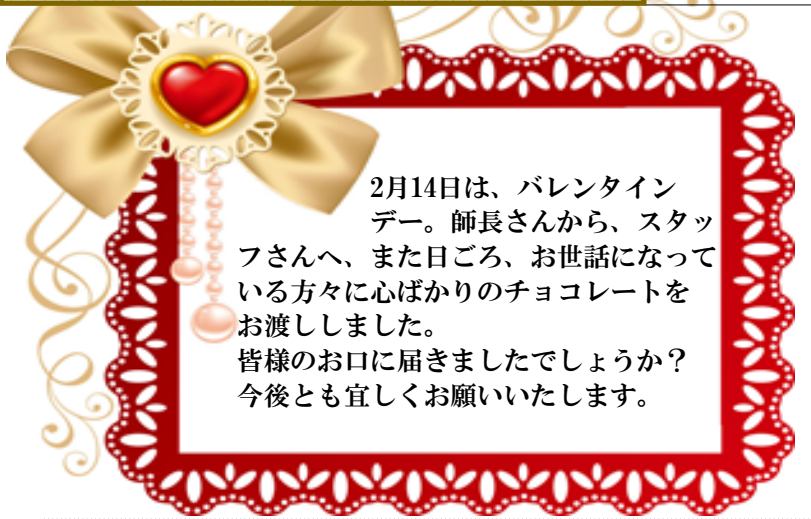


6階西病棟の境津佳沙看護師は、第17回日本クリニカルパス学会(2016石川県開催)において、”私たちの指導が患者に理解されているかー患者アンケート調査による検討ー”を発表してきました。これがきっかけで、執筆の依頼がきました。日総研より発行されている看護記録と看護過程の2.3月号で特別企画された月刊誌に”アンケート調査により患者用パスの「病院の言葉」を解かりやすくする検討”と題して、5ページにわたり掲載されました。完成にあたっては、泌尿器科の川村研究医師の指導・助言のもと 幾度も添削・訂正を繰り返し、完成までの道のりは大変で、産みの苦しみだったようですが、しっかりした内容にまよっていません。皆様には、境津佳沙看護師の努力の結晶を是非、見ていただきたいです。看護部管理室、6階西病棟にあります。



# なう 看護部Nau

平成29年2月  
第29号発行  
社会医療法人  
財団董仙会  
恵寿総合病院  
看護部管理室



2月14日は、バレンタインデー。師長さんから、スタッフさんへ、また日ごろ、お世話になっている方々に心ばかりのチョコレートを  
お渡ししました。  
皆様のお口に届きましたでしょうか？  
今後とも宜しく願いいたします。

## 新しい看護方式PNS！

2016年から看護部では、20年以上も長きに渡り行われていた看護方式を固定チームナーシングから、PNS(パートナーシップナーシングシステム)を取り入れることで、看護の安全と質の向上を目指しております。この一年の取り組みで、5病棟3階がモデル病棟として運用に成功し、実践がされております。6階東病棟でも同様に運用実践がされ、定時帰宅に近づいており、成果が見られます。次年度には、すべての病棟で運用実践できるように活動を進めております。看護方式をPNSに変えることで、患者の安全と満足、看護師相互の教育による看護の質向上が見込まれます。副産物としての超過勤務がなくなり、定時帰宅が可能になっていくことでしょうか。看護師の



QOL向上が期待できます。

15時、リシャッフルで、定時帰宅を！



# ～本館6階西の紹介～



## 素晴らしい眺め

当病棟は本館の最上階西側に位置し、デイルームからは青く澄み切った七尾湾と能登島が一望できます。また晴れた日には美しい夕焼けを見ることもできます。四季折々の様々な表情を見せてくれる七尾湾は患者さんだけでなく私たち職員も癒され素晴らしい環境の下で私たち31名は日々奮闘しております。



## 特別室

当病棟には院内で唯一30,000円の特別室があります。家具はもちろん、キッチンや電子レンジ、アメニティグッズも充実しています。空床であればいつでも見学できますのでまだご覧になっていない方はぜひ一度見に来て下さい。



## 2交代勤務導入・PNS勉強中

昨年8月より完全二交替勤務を導入しました。12.5時間夜勤です。課題はまだありますが、残業は3交替時代よりかなり削減できました。少しでも働きやすい環境を整えたく日々業務改善に取り組んでいます。PNSも今年新しく導入。まだまだ本格始動とはいきませんが、2月より平日の日勤から取り入れられています。“なんちゃって”にならないよう勉強中です。

## ♪ 川村バンドこと歌声喫茶 ♪

我が病棟のヒーロー★こと泌尿器科の川村先生はギターも弾けて、歌も歌えて、楽しいトークもできて…何でも出来ちゃうんです。川村先生を中心に不定期で開催している歌声喫茶は、毎回楽しい時間を患者さんに与えてくださいます。病室では、見られない患者さんの笑顔を見ることができますよ。もちろん職員も楽しませてください。まだ参加していないあなた！ぜひ今度、参加してみたいはかがでしょうか。病院の中で生演奏が聞けるなんて最高に素敵なことです。♪♪



## 只今、必死で頑張っています！！

昨年、一昨年と適時調査で指摘を受けた「入院診療計画書」の個別性。原則、定型文は使用しないことと取り決め、この患者さんの個別性は何だろう？問題点は何？どんな看護が必要なの？と日々みんなで悩みながら、考えながら“個別性”のある入院診療計画書をお渡しできるよう頑張っています。調査官より「入院診療計画書は地域へ提出する公文書です。」と助言いただき、一人でも多くの患者さんから「この病棟に入院したい」「この病棟に入院して良かった」と思っただけのようこれからも努力していきたいと思っています。

